

平成30年3月29日

各都道府県環境担当部長 宛

環境省水・大気環境局土壌環境課
農薬環境管理室長
(公印省略)

ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止及び水産動植物被害の防止に係る指導指針に基づく水質調査の取組について

日頃、農薬環境行政の推進にご理解、ご協力を賜わり、厚く御礼申し上げます。

平成29年3月9日付け環水大土発第1703091号環境省水・大気環境局長通知をもって、「ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止及び水産動植物被害の防止に係る指導指針」(以下「指導指針」という。)を定めたところですが、その運用に当たっては、引き続き、平成29年3月21日環水大土発第1703162号「ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止及び水産動植物被害の防止に係る指導指針の運用に当たっての留意事項について」(以下「留意事項」という。)に十分ご留意いただき、適切にゴルフ場の指導に当たられるようお願いいたします。

特に、水質調査の結果については、毎年、都道府県のご協力の下、環境省において取りまとめ、公表するとともに、中央環境審議会土壌農薬部会に報告しています。平成30年1月25日の全国都道府県及び政令指定都市等環境担当部局長会議においても、調査の協力をお願いしたところです。

つきましては、指導指針に基づき、排水口での調査を基本とした水質の実態把握に努め、ゴルフ場関係者又は市町村が行った調査結果についても把握し、提供をお願いします。

また、留意事項の別添「水産動植物の被害防止の観点から水質調査において注意を要する農薬一覧」を30年3月1日現在で更新しましたので、効率的な水質調査を実施するに当たっての参考としてください。

なお、本文書は、別途、公益財団法人日本ゴルフ協会、公益社団法人ゴルフ緑化促進会、公益社団法人日本パブリックゴルフ協会、一般社団法人日本ゴルフ場経営者協会、特定非営利活動法人日本芝草研究開発機構及び日本ゴルフ場支配人会連合会にもお知らせし、会員に対する周知をお願いすることとしています。

水産動植物の被害防止の観点から水質調査において注意を要する農薬一覧

農薬によっては、人畜に被害が生じるおそれがない排水であっても、水産動植物に被害が発生するおそれがあるものがあることから、特に水産動植物被害の未然防止を図るため、ゴルフ場での使用が想定される農薬(芝、樹木、花きに適用のあるもの)について、水質調査において注意を要する農薬として、

(1) 水産指針値が水濁指針値よりも小さいもの

(2) 水濁指針値が未設定のもの(これまでの水質調査において知見の少ないもの)

(3) 近年(H22～28年度)のゴルフ場排水口での水質調査結果で、水産指針値の超過が見られたもの

を農薬一覧として整理した。

この中でも、水産基準値が環境中予測濃度(水産PEC)と近接していることから指針値を超過しやすかったり、近年の調査で超過事例が見られるものには網掛けをしているので、これらの農薬を使用する際には十分注意するとともに、排水中の当該濃度の把握に十分努められたい。

また、水濁基準値、水産基準値の設定審議が終了しておらず、水濁指針値、水産指針値が設定されていない農薬を使用する場合であっても、ゴルフ場外へ農薬が流出しないよう十分注意するとともに、実態把握に努められたい。

(1) 水産指針値が水濁指針値よりも小さい農薬

一般名	用途	水産指針値 ($\mu\text{g/L}$)	水濁指針値 ($\mu\text{g/L}$)	適用作物			製品事例 ※ 括弧内は適用作物及び混合相手の成分を記載 ※ 「樹木」は樹木類(木本植物、花木類)の略、「花き」 は花き類・観葉植物の略 ※ 当該有効成分を含有する一部の製品名を記載	芝、花き等 に用い、水 産基準値と PECが近接 (10倍以内)	うち非水田 PECが近接 (10倍以内)
				芝	樹木	花き			
1 アセキノシル	殺ダニ 剤	3.9	580			○	カネマイトフロアブル(花き)		
2 アセタミプリド	殺虫剤	57	1,800	○	○	○	イマージ液剤(花き)、モスピランワン粒剤(花き)、モスピラン・トップジンMSスプレー(花き、チオファネートメチルとの混合剤)、モストップジンRSスプレー(花き、フェンプロパトリンとチオファネートメチルの混合剤)、GFモストップジンRSスプレー(花き、フェンプロパトリンとチオファネートメチルの混合剤)、イールダーSG(芝)、ジェネレート水溶剤(芝)、ジェイエース水溶剤(芝)、モスピラン水溶剤(樹木、花き)、マツグリーン液剤(樹木)、ダイリーグ粒剤(樹木、花き)、マイテミスプレー(花き、ベンチオピラドとの混合剤)、レインボーフラワーEX(花き、複合肥料)、カダン殺虫肥料(花き(容器栽培)、複合肥料)		
3 アゾキシストロピン	殺菌剤	280	4,700	○		○	ヘリテージ顆粒水和剤(芝)、シバンバフロアブル(芝、シプロコナゾールとの混合剤)、ダイフフロアブル(芝、ジフェノコナゾールとの混合剤)、ユニフォーム粒剤(花き、メタラキシルMとの混合剤)、アミスター20フロアブル(花き)	◎	
4 アバメクテン	殺虫剤	0.37	15.0			○	アグリメック(花き)、エイビッド(花き)		
5 アミスルプロム	殺菌剤	36	2,000	○		○	ベスグリーンDF(芝)、オラクル顆粒水和剤(花き(ポット・プランター等の容器栽培))		
6 アトクトラジン	殺菌剤	64	71,000	○			ザンプロターフ(芝)		
7 アラクロール	除草剤	47	200	○			ハブーン乳剤(芝)		
8 イミダクロプリド	殺虫剤	19	1,500	○	○	○	ブルースカイAL(花き)、アースガーデンC(花き)、アドマイヤーフロアブル(花き)、ブルースカイ粒剤(花き)、タフバリア水和剤(芝)、タフスティンガーフロアブル(芝、フルベンジアミドとの混合剤)、タフバリアDXフロアブル(芝)、アドマイヤー1粒剤(樹木、花き)	◎	
9 イミベンコナゾール	殺菌剤	180	260	○	○	○	マネージ乳剤(芝、樹木、花き)、ツインサイドDF(芝)、ホクコーオールドランMP(樹木、花き、アセフェート・ペルメトリンとの混合剤)、ムシキントール(樹木、花き、ペルメトリンとの混合剤)		
10 インダノファン	除草剤	29	93.0	○			トレビエース水和剤(芝)	◎	
11 エトキサゾール	殺虫剤	15	1,000		○	○	バロックフロアブル(樹木、花き)、ピルク水和剤(花き、フェンプロパトリンとの混合剤)		
12 エトフェンブロックス	殺虫剤	6.7	820	○	○	○	サニーフィールド乳剤(芝、樹木)、サニーフィールドMC(芝)、アースガーデンT(樹木、花き)、トレボン乳剤(樹木、花き)、サンヨール・トレボンスプレー(樹木、花き、DBEDCとの混合剤)		
13 オキサジアルギル	除草剤	73	200	○			サブライズフロアブル(芝、オキサジクロモホンとの混合剤)、フェナックスフルアブル(芝)	◎	
14 オキシ銅又は有機銅	殺菌剤	18	200	○	○	○	オキシラン水和剤(芝、キャブタンとの混合剤)、グリーンオキシラン水和剤(芝、キャブタンとの混合剤)、オキシンドー水和剤80(芝、花き)、キノドー水和剤40(芝、樹木、花き)、ドウグリーン水和剤(芝、樹木)、ロブドー水和剤(芝、イプロジオンとの混合剤)、ドーマイシ水和剤(花き、ストレプトマイシンとの混合剤)	◎	◎
15 カズサホス	殺虫剤	2.5	6.60			○	ラグビーMC粒剤(花き)		
16 カフェンストロール	除草剤	20	70.0	○			ハイメドウ水和剤(芝)、サンシールド水和剤(芝、ハロスルフロメチルとの混合剤)、ウェーブル顆粒水和剤(芝、レナシールとの混合剤)、ラボストフロアブル(芝)		
17 カルフェントラゾンエチル	除草剤	130	700	○			タスク39DF(芝)	◎	
18 クレソキシムメチル	殺菌剤	160	9,500	○	○	○	ターフトップDF(芝)、ストロビーフロアブル(花き)、ストロビードライフロアブル(樹木)		

一般名	用途	水産指針値 ($\mu\text{g/L}$)	水濁指針値 ($\mu\text{g/L}$)	適用作物			製品事例 ※ 括弧内は適用作物及び混合相手の成分を記載 ※ 「樹木」は樹木類(木本植物、花木類)の略、「花き」 は花き類・観葉植物の略 ※ 当該有効成分を含有する一部の製品名を記載	芝、花き等 に用い、水 産基準値と PECが近接 (10倍以内)	うち非水田 PECが近接 (10倍以内)
				芝	樹木	花き			
19	クロチアニジン	殺虫剤	28	2,500	○	○	○	◎	
20	クロマフェノジド	殺虫剤	970	7,100		○	○		
21	クロラントラニプロロール	殺虫剤	29	6,900	○	○		◎	
22	クロリムロンエチル	除草剤	37	2,000	○				
23	クロルフェナビル	殺虫剤	7.0	690		○	○		
24	シアゾファミド	殺菌剤	88	4,500	○				
25	シアントラニプロロール	殺虫剤	18	250	○	○		◎	
26	ジエトフェンカルブ	殺菌剤	9,800	11,000		○	○		
27	シエノピラフェン	殺虫剤	2.9	1,000			○		
28	ジノテフラン	殺虫剤	120	5,800		○	○		
29	シフルメトフェン	殺ダニ 剤	63	2,400			○		
30	ジフルメトリム	殺菌剤	35	37		○	○		
31	シラフルオフェン	殺虫剤	0.67	2,900	○			◎	◎
32	スピロメシフェン	殺虫剤	92	580			○		
33	チアメトキサム	殺虫剤	35	470	○	○	○	◎	
34	テフルベンズロン	殺虫剤	3.7	260	○		○		
35	トリフルラリン	除草剤	240	630	○				
36	トリフロキシストロピン	殺菌剤	15	1,000	○				
37	トルフェンピラド	殺虫剤	0.99	140			○	◎	◎
38	ニテンピラム	殺虫剤	110	14,000			○	◎	
39	ノバルロン	殺虫剤	0.17	290			○		
40	ハロスルフロメチル	除草剤	50	2,600	○			◎	
41	ピフェントリン	殺虫剤	0.058	260	○	○	○	◎	◎
42	ピラフルフェンエチル	除草剤	8.2	4,500	○				
43	ピリダベン	殺虫剤	0.51	100			○	◎	◎
44	ピリダリル	殺虫剤	3.8	740	○		○		
45	ピリプチカルブ	除草剤	100	230	○				
46	ピリフルキナゾン	殺虫剤	2.7	100			○		
47	ピリプロキシフェン	殺虫剤	75	2,600			○		

一般名	用途	水産指針値 ($\mu\text{g/L}$)	水濁指針値 ($\mu\text{g/L}$)	適用作物			製品事例 ※ 括弧内は適用作物及び混合相手の成分を記載 ※ 「樹木」は樹木類(木本植物、花木類)の略、「花き」 は花き類・観葉植物の略 ※ 当該有効成分を含有する一部の製品名を記載	芝、花き等に 用い、水 産基準値と PECが近接 (10倍以内)	うち非水田 PECが近接 (10倍以内)
				芝	樹木	花き			
48	ピリベンカルブ	殺菌剤	600	1,000	○		ファンターフ顆粒水和剤(芝)		
49	ピリミジフェン	殺虫剤	2.1	39			○ マイトクリーン(花き)		
50	ピロキサスルホン	除草剤	7.4	500	○		ソリスト顆粒水和剤(芝)		
51	フェノピカルブ又はBPMC	殺虫剤	19	340	○		○ ミミダス(芝)、アストロ乳剤(芝)、シバラックMC(芝、MEPとの混合剤)	◎	◎
52	フェンピロキシメート	殺虫剤	3.2	250			○ ダブルフェースフロアブル(花き、ピフルブミドとの混合剤)、ダニトロン(花き)、アブロードエースフロアブル(花き、プロフフェジンとの混合剤)		
53	フルアジナム	殺虫剤・殺菌剤	93	200			○ フロンサイド水和剤(花き)		
54	フルキサピロキサド	殺菌剤	290	550	○		セルカディスフロアブル(芝)		
55	フルジオキシニル	殺菌剤	770	8,700	○		○ メダリオン水和剤(芝)、セイビアフロアブル20(花き)		
56	フルチアニル	殺菌剤	850	63,000		○	○ ガッテン乳剤(樹木、花き)		
57	フルフェノクスロン	殺虫剤	0.17	980			○ カスケード乳剤(花き)	◎	◎
58	フルベンジアミド	殺虫剤	58	450	○	○	○ スティンガーフロアブル(芝、樹木)、フェニックス顆粒水和剤(花き)、フェニックスフロアブル(樹木)		
59	プロジアミン	除草剤	4.6	1,700	○		グラトップ(芝、ハロスルフロメチルとの混合剤)、クサブロック(芝)、バリケードフロアブル(芝)		
60	プロフェノホス	殺虫剤	0.77	10.0			○ エンセダン乳剤(花き)		
61	ヘキシチアゾクス	殺ダニ剤	360	740			○ ニッソラン水和剤(花き)		
62	ペンシクロン	殺菌剤	1,000	1,400	○		○ セレンターフ粒剤(芝)、タフシーバフロアブル(芝、テブコナゾールとの混合剤)、ティービク水和剤(花き)		
63	ベンチオピラド	殺菌剤	560	2,000	○	○	○ ガイア顆粒水和剤(芝)、ユニゾン水和剤(芝、マンゼブとの混合剤)、スターガードプラスAL(樹木、花き、ジノテフランとの混合剤)、マイテミンスプレー(花き、アセタミプリドとの混合剤)、アフェットフロアブル(花き)		
64	ベンディメタリン	除草剤	140	3,100	○		ウエイアップフロアブル(芝)、グリーンケアG顆粒水和剤(芝)、プレエム550粒剤(芝、複合肥料)、ウエイアップクアキャップ(芝)、オフIIフロアブル(芝、イマザキンとの混合剤)、クサトレビアン(芝、複合肥料)		
65	ペンフルフェン	殺菌剤	100	530	○		オブテインフロアブル(芝)		
66	ペンフルラリン又はベスロジン	除草剤	29	100	○		バナフィン粒剤2.5(芝)、ノーモアM粒剤(芝、トリフルラリンとの混合剤)、ビバテル粒剤(芝、オリザリンとの混合剤)		
67	マンデストロピン	殺菌剤	1,200	5,000	○		シバコン(芝)		
68	ミルベメクテン	殺虫剤	10	700		○	○ マツガード(樹木)、ダニボーイ(花き)、コロマイト乳剤(花き)、ダニダウン水和剤(花き)		
69	メタフルミゾン	殺虫剤	58	3,100		○	○ アクセルフロアブル(樹木、花き)、アクセルキングフロアブル(花き、トルフェンピラドとの混合剤)		
70	メトラクロール	除草剤	230	2,500	○		デュアール乳剤(芝)		
71	メバニピリム	殺菌剤	880	1,900		○	○ フルピカフロアブル(樹木、花き)		
72	S-メトラクロール	除草剤	230	2,500	○		シバッチ乳剤(芝)		
73	レビメクテン	殺虫剤	0.63	530			○ アニキ乳剤(花き)		

注：指針値は基準値の10倍値である。

基準値は順次設定され、また、改正される場合があることから、環境省のホームページにより、随時確認が必要。

農薬の登録内容は変更される場合があることから、使用に当たっては製品ラベルを必ず確認すること。

(2)水濁指針値が未設定の農薬

	一般名	用途	水産指針値 ($\mu\text{g/L}$)	水濁指針値 ($\mu\text{g/L}$)	適用作物			製品事例 ※ 括弧内は適用作物及び混合相手の成分を記載 ※ 「樹木」は樹木類(木本植物、花木類)の略、「花き」 は花き類・観葉植物の略 ※ 当該有効成分を含有する一部の製品名を記載	芝、花き等に 用い、水 産基準値と PECが近接 (10倍以内)	うち非水田 PECが近接 (10倍以内)
					芝	樹木	花き			
1	DBEDC	殺虫殺菌剤	240	-	○	○	○	バンベル-D液剤(芝)、サンヨール乳剤(芝、樹木、花き)、サンヨール液剤(樹木、花き)		
2	MCPAイソプロピルアミン塩	除草剤	81,000	-	○			プラスコンM液剤(芝)		
3	MCPAナトリウム塩	除草剤	81,000	-	○			MCPソーダ塩(芝)		
4	アイオキシニルオクタノエート又はアイオキシニル	除草剤	11	-	○			グロスコール乳剤(芝)		
5	アクリナトリン	殺虫剤	0.052	-			○	アーデント水和剤(花き)、アザミバスター水和剤(花き)	◎	◎
6	アトラジン	除草剤	1,500	-	○			アルテミストフロアブル(芝)		
7	アラニカルブ	殺虫剤	18	-			○	オリオン水和剤40(花き)		
8	イソプロカルブ又はMIPC	殺虫剤	24	-	○			みみんず水和剤(芝)		
9	イプロジオン	殺菌剤	1,800	-	○		○	ロブラール水和剤(芝、花き)、ブルーデンス水和剤(芝、ホセチルとの混合剤)、ロブグラン水和剤(芝、トルクロホスメチルとの混合剤)、ロブドー水和剤(芝、有機銅との混合剤)、ユキスター水和剤(芝、テフコナゾールとの混合剤)、パッチバスター(芝、イミノクタジン酢酸塩との混合剤)、インターフェースフロアブル(芝、トリフロキシストロピンの混合剤)		
10	イミノクタジンアルベシル酸塩	殺菌剤	27	-	○	○		ベルコート水和剤(樹木)、ポディーブロー(芝、ポリオキシシとの混合剤)		
11	イミノクタジン酢酸塩	殺菌剤	27	-	○	○	○	ポリベリン水和剤(樹木、花き、ポリオキシシとの混合剤)、ミステラン水和剤(芝、チウラムとの混合剤)、カシマン液剤(芝)、モノクタジンフロアブル(芝、メプロニルとの混合剤)、ペフラン液剤25(花き)、カシマン液剤(芝)	◎	◎
12	エテホン	植物成長調整剤	71,000	-	○		○	エスレル10(花き)、プロキシ液剤(芝)		
13	エマメクチン安息香酸塩	殺虫剤	0.96	-		○	○	アフーム乳剤(花き)、ショットワン液剤(樹木)、ガーディーAL(花き、樹木、チアトキサム・ジフェノコナゾールとの混合剤)、花華やか顆粒水溶剤(樹木、花き、チアトキサム・ジフェノコナゾールとの混合剤)、リバイブ(樹木)		
14	塩基性塩化銅	殺菌剤	3.8	-			○	ドイツボルドーA(花き)、カスミンボルドー(花き、カスガマイシとの混合物)	◎	◎
15	塩基性硫酸銅	殺菌剤	3.8	-		○	○	ICボルドー-66D(樹木、花き)	◎	◎
16	オキシボコナゾールフマル酸塩	殺菌剤	2,500	-	○			ペンコシャイン水和剤(芝、マンゼブとの混合物)		
17	オレイン酸ナトリウム	殺虫殺菌剤	23,000	-			○	オレート液剤(花き)		
18	クロリダゾン又はPAC	除草剤	21,000	-	○			レナパック水和剤(芝、PACとの混合剤)		
19	クロールピリホス	殺虫剤	0.46	-			○	ダースバン粒剤(樹木)	◎	◎
20	クロロタロニル又はTPN	殺菌剤	80	-	○	○	○	ダコニール1000(芝、花き)、ダコグリーン(芝、チウラムとの混合剤)、カダンD(樹木、花き、アレスリンとの混合剤)、カダンP(樹木、花き、ベルメトリンとの混合剤)		
21	シアナミド	殺虫剤、殺菌剤、除草剤	6,700	-			○	CX-10(樹木)	◎	
22	シアノホス又はCYAP	殺虫剤	97	-			○	サイアノックス乳剤(花き)		
23	シアン酸ナトリウム	除草剤	21,000	-		○	○	シアノット(樹木、花き)		
24	ジウロン又はDCMU	除草剤	250	-		○		マスターリー粒剤(樹木、シアナジン・DCBNの混合剤)		
25	シクロスルファミロン	除草剤	35	-	○			ダブルアップDG(芝)	◎	
26	ジクワットジプロミド又はジクワット	除草剤	130	-		○	○	ブリグロックSL(樹木、花き、パラコートとの混合剤)	◎	
27	シハロトリン	殺虫剤	0.081	-	○		○	サイハロン水和剤(芝)、サイハロン乳剤(花き)	◎	◎
28	シフルトリン	殺虫剤	0.061	-		○	○	ヒットゴール液剤AL(樹木、花き、トリアジメホンの混合剤)、HJバイスロイド液剤AL等(樹木、花き)、アースガーデンW(樹木、花き、ピテルタノールとの混合剤)	◎	◎
29	ジフルベンズロン	殺虫剤	4.3	-		○	○	デミリン水和剤(樹木)		
30	シマジン又はCAT	除草剤	1,700	-	○			シマジン粒剤1(芝)		

一般名	用途	水産指針値 ($\mu\text{g/L}$)	水濁指針値 ($\mu\text{g/L}$)	適用作物			製品事例 ※ 括弧内は適用作物及び混合相手の成分を記載 ※ 「樹木」は樹木類(木本植物、花木類)の略、「花き」 は花き類・観葉植物の略 ※ 当該有効成分を含有する一部の製品名を記載	芝、花き等 に用い、水 産基準値と PECが近接 (10倍以内)	うち非水田 PECが近接 (10倍以内)
				芝	樹木	花き			
31 ジメトエート	殺虫剤	2,000	-			○	ジメトエート粒剤(花き)		
32 ジラム	殺菌剤	9.6	-	○	○		コニファー水和剤(樹木)、モノクター水和剤(芝)	◎	◎
33 ストレプトマイシン硫酸塩又はストレプトマイシン	殺菌剤	1,900	-	○	○	○	アグリマイシン-100(芝、オキシテトラサイクリンとの混合剤)、アタッキン水和剤(花き、チオファネートメチルとの混合剤)、バクテサイド(樹木、オキシテトラサイクリンとの混合剤)、ドーマイシン水和剤(花き、有機銅との混合剤)		
34 セトキシジム	除草剤	72,000	-		○	○	ナブ乳剤(樹木、花き)		
35 ダイアジノン	殺虫剤	0.77	-	○	○	○	ダイアジノン乳剤40(芝)、ダイアジノン水和剤34等(樹木)、オンダイアエース粒剤(樹木、花き、ベンフラカルブとの混合剤)、ダイアジノンSLゾル(芝、樹木)、ランダイヤ粒剤(芝、メソミルとの混合剤)	◎	◎
36 タウフルバリネート又はフルバリネート	殺虫剤	1.8	-		○	○	マブリック水和剤20(樹木、花き)		
37 ダゾメット	殺線虫剤・殺菌剤・除草剤	6,100	-	○	○	○	バスアミド微粒剤(芝、樹木、花き)		
38 チアクロプリド	殺虫剤	36	-		○		エコファイターフロアブル(樹木)		
39 チウラム	殺菌剤	100	-	○	○	○	アンレス(樹木)、ダコグリーン(芝、TPNとの混合剤)、ホーマイ水和剤(芝、樹木、花き、チオファネートメチルとの混合剤)、ミステラン水和剤(芝、イミクタジン酢酸塩との混合剤)、ティービック水和剤(花き、ペンシクロンとの混合剤)、ペンレートT水和剤20(芝、花き、ペノミルとの混合剤)		
40 チオジカルブ	殺虫剤	27	-	○	○	○	ラービンベイト2(花き)、ラービン水和剤75(花き)、リラークDF(芝、樹木)		
41 チオンクラムシユウ酸塩又はチオンクラム	殺虫剤	19	-			○	エビセクト水和剤(花き)	◎	
42 チオファネートメチル	殺菌剤	1,000	-	○	○	○	トップジンM水和剤(樹木、花き)、ラビライト水和剤(花き、マンネブとの混合剤)、ホーマイ水和剤(芝、樹木、花き、チウラムとの混合剤)、アタッキン水和剤(花き、チオファネートメチルとの混合剤)、スミトップM粉剤(樹木)、ゲッター水和剤(樹木、花き、ジエトフェンカルブとの混合剤)、ワンオン水和剤(芝、バリダマイシンとの混合剤)、グラコーン水和剤(芝、ホセチルとの混合剤)、カダンSP II(樹木、花き、ベルメトリンとの混合剤)、モスピラン・トップジンMSプレー(花き、アセタミプリドとの混合剤)、モストップジンRSプレー(花き、アセタミプリド・フェンプロパトリンとの混合剤)、	◎	
43 テトラコナゾール	殺菌剤	2,800	-	○	○	○	ボンジョルノ乳剤(芝)、サルバトーレME(花き)、ガーデンガードAL(樹木、花き、ベルメトリンとの混合剤)、ビゴールドフロアブル(芝、フルオキサストロピンとの混合剤)		
44 テトラジホン	殺ダニ剤	60	-			○	テデオ水和剤(花き)、テデオ乳剤(花き)		
45 テブチウロン	除草剤	1,000	-		○		マスターー粒剤(樹木、DBNとの混合剤)、		
46 テブフェンピラド	殺ダニ剤	18	-		○	○	ピラニカEW等(樹木、花き)		
47 テフルトリン	殺虫剤	0.064	-		○		フォース粒剤(樹木)		
48 トラロメトリン	殺虫剤	0.063	-	○	○	○	スカウト乳剤(芝、花き)、スカウトフロアブル(芝、樹木、花き)	◎	◎
49 トリクロロホン又はDEP	殺虫剤	1.1	-	○	○	○	ディブテレックス乳剤(芝、樹木、花き)	◎	◎
50 トリフロキシスルフロソナトリウム塩	除草剤	280	-	○			モニュメント顆粒水和剤(芝)		
51 パラコートジクロリド又はパラコート	除草剤	2,400	-		○	○	ブリグロックス(樹木、花き、ジクワットとの混合剤)		
52 バリダマイシンA又はバリダマイシン	殺菌剤	100,000	-	○			ワンオン水和剤(芝、チオファネートメチルとの混合剤)、トルファン(芝、フェリムゾンとの混合剤)		
53 ビスピリバックナトリウム塩	除草剤	12,000	-	○			ショートキープ(芝)		
54 ヒメキサゾール又はヒドロキシヒメキサゾール	殺菌剤・植物成長調整剤	28,000	-	○	○	○	タチガレン液剤(芝、花き)、ミックレート水和剤(芝、プロピコナゾールとの混合剤)、ラプガード水和剤(芝、テブコナゾールとの混合剤)		
55 ピレトリン	殺虫剤	14	-		○	○	パイベニカVスプレー(樹木、花き)、パイベニカVスプレー(花き)		
56 フィブロニル	殺虫剤	190	-			○	プリンスフロアブル(花き)		
57 フェナリモル	殺菌剤	6,000	-			○	ルビゲン水和剤(花き)		

一般名	用途	水産指針値 ($\mu\text{g/L}$)	水濁指針値 ($\mu\text{g/L}$)	適用作物			製品事例 ※ 括弧内は適用作物及び混合相手の成分を記載 ※ 「樹木」は樹木類(木本植物、花木類)の略、「花き」 は花き類・観葉植物の略 ※ 当該有効成分を含有する一部の製品名を記載	芝、花き等に 用い、水 産基準値と PECが近接 (10倍以内)	うち非水田 PECが近接 (10倍以内)	
				芝	樹木	花き				
58	フェンバレレート	殺虫剤	0.42	-			○	スミアルファ乳剤(花き(施設栽培))	◎	◎
59	フェンプロバトリン	殺虫剤	15	-		○	○	ベニカカミキリムシエアゾール(樹木、花き)、ダブルア タック(樹木、花き、テトラコナゾールとの混合物)、ベニ カXファインスプレー(樹木、花き、クロチアニジン、メバ ニリムとの混合物)、ベニカJスプレー(樹木、花き、クロ チアニジン、メバニリムとの混合物)		
60	フラザスルフロン	除草剤	170	-	○	○		シバゲン水和剤(芝)、カタナ水和剤(樹木)		
61	ブロクloraz	殺菌剤	3,100	-			○	スポルタック乳剤(花き)		
62	プロジアミン	除草剤	4.6	-	○			グラトップDF(芝、ハロスルフロンメチルとの混合剤)、ク サブロック(芝)		
63	プロチオホス	殺虫剤	2.0	-	○	○	○	トクチオン乳剤(芝、樹木、花き)	◎	◎
64	プロピネブ	殺菌剤	210	-	○			プロテクメートWDG(芝)		
65	ベルメトリン	殺虫剤	1.7	-	○	○	○	アディオン乳剤(樹木、花き)、園芸用キンチョールS(花 き、トリホリンとの混合剤)、カダンP(樹木、花き、TPNと の混合剤)、エンバーMC(芝)、カダンSP II(樹木、花 き、チオファネートメチルとの混合剤)、ムシキントール (花き、イミベンコナゾールとの混合剤)、オルトランMP (樹木、花き、アセフェート・イミベンコナゾールとの混合 剤)、ベニカX乳剤(樹木、花き、マイクロブタニルとの混合 剤)、ガーデンガードAL(樹木、花き、テトラコナゾールと の混合剤)、ベニカDX等(樹木、花き、プロフェジン・ミ クロブタニルとの混合剤)	◎	◎
66	ベンフラカルブ	殺虫剤	9.9	-		○	○	オンコル粒剤5(樹木、花き)、オンダイアエース粒剤(樹 木、花き、ダイアジノンとの混合剤)、オンコルスタークル 剤(花き、ジノテフランとの混合剤)	◎	◎
67	ホスチアゼート	殺虫剤	230	-		○	○	ネマトリン粒剤(樹木、花き)、ネマバスター(樹木)		
68	マンゼブ	殺菌剤	120	-	○	○		ベンコシャイン水和剤(芝、オキシポコナゾールフマル酸 塩との混合剤)、ユニゾン水和剤(芝、ベンチオピラドとの 混合物)、クロステクト水和剤(芝、マイクロブタニルとの混 合物)、ベンコゼブ水和剤(樹木)	◎	◎
69	マンネブ	殺菌剤	180	-		○	○	エムダイファー水和剤(樹木、花き)、ラビライト水和剤 (花き、チオファネートメチルとの混合剤)	◎	◎
70	メソミル	殺虫剤	15	-	○			ランダイヤ粒剤(芝、ダイアジノンとの混合剤)		
71	メチダチオン又はDMTP	殺虫剤	1.1	-		○	○	スブラサイド乳剤40(樹木類、花き)	◎	◎
72	メスルフロンメチル	除草剤	8,700	-	○			サーベルDF(芝)		
73	ヨードスルフロンメチルナト リウム塩	除草剤	610	-	○			デスティニーWDG(芝)、ウィーデンWDG(芝、オキサジ クロメホンとの混合剤)、クリアコンビWDG(芝、エトキシ スルフロンとの混合剤)		
74	リムスルフロン	除草剤	9,800	-	○			ハーレイDF(芝)		
75	レナシル	除草剤	150	-	○			レンザー(芝)、レナバック水和剤(芝、PACとの混合 剤)、ウェーブル顆粒水和剤(芝、カフェンストロールとの 混合剤)		
76	酸化フェンブタズ	殺ダニ剤	2	-			○	オサダン(花き)	◎	◎

注：指針値は基準値の10倍値である。

基準値は順次設定され、また、改正される場合があることから、環境省のホームページにより、随時確認が必要。
農薬の登録内容は変更される場合があることから、使用に当たっては製品ラベルを必ず確認すること。

(3) 近年(H22～28年度)のゴルフ場排水口での水質調査結果で、水産指針値の超過が見られたもの

	一般名 (超過検体数)	用途	水産指針値 ($\mu\text{g/L}$)	最高検出値 ($\mu\text{g/L}$)	適用作物			製品事例 ※ 括弧内は適用作物及び混合相手の成分を記載 ※ 「樹木」は樹木類(木本植物、花木類)の略、「花き」 は花き類・観葉植物の略 ※ 当該有効成分を含有する一部の製品名を記載	芝、花き等 に用い、水 産基準値と PECが近接 (10倍以内)	うち非水田 PECが近接 (10倍以内)
					芝	樹木	花き			
1	ダイアジノン (7) ※水濁の暫定指針値:50 $\mu\text{g/L}$	殺虫剤	0.77	10	○	○	○	ダイアジノン乳剤40(芝)、ダイアジノン水和剤34等(樹木)、オンダイアエース粒剤(樹木、花き、ベンフラカルブとの混合剤)、ダイアジノンSLゾル(芝、樹木)、ランダイヤ粒剤(芝、メソミルとの混合剤)	◎	◎
2	ペルメトリン (1)	殺虫剤	1.7	10	○	○	○	アディオン乳剤(樹木、花き)、園芸用キンチョールS(花き、トリホリンとの混合剤)、カダンP(樹木、花き、TPNとの混合剤)、エンバーMC(芝)、カダンSPⅡ(樹木、花き、チオファネートメチルとの混合剤)、ムシキントール(花き、イミベンコナゾールとの混合剤)、オルトランMP(樹木、花き、アセフェート・イミベンコナゾールとの混合剤)、ベニカX乳剤(樹木、花き、ミクロブタニルとの混合剤)、ガーデンガードAL(樹木、花き、テトラコナゾールとの混合剤)、ベニカDX等(樹木、花き、プロフェジン・ミクロブタニルとの混合剤)	◎	◎
3	イミノクタジンアルベシル酸塩及びイミノクタジン酢酸塩 (2) ※水濁の暫定指針値:60 $\mu\text{g/L}$	殺菌剤	27	52	○	○	○	ボディーブロー水和剤(芝、ポリオキシンの混合剤)、カシマン液剤(芝)、ミステラン水和剤(芝、チウラムとの混合剤)、モノクタジンフロアブル(芝、メプロニルとの混合剤)、ベルコート水和剤(樹木)、ベルコートフロアブル(花き)、ポリペリン水和剤(樹木、花き、ポリオキシンとの混合剤)、ペフラン液剤25(花き)	◎	◎
4	アゾキシストロピン (1)	殺菌剤	280	400	○		○	ヘリテージ顆粒水和剤(芝)、シバンバフロアブル(芝、シプロコナゾールとの混合剤)、ダイフロアブル(芝、ジフェノコナゾールとの混合剤)、ユニフォーム粒剤(花き、メタラキシルMとの混合剤)、アミスター20フロアブル(花き)	◎	
5	オキシ銅又は有機銅 (3)	殺菌剤	18	40	○		○	オキシラン水和剤(芝、キャプタンとの混合剤)、グリーンオキシラン水和剤(芝、キャプタンとの混合剤)、オキシンドー水和剤80(芝、花き)、キノドー水和剤40(芝、樹木、花き)、ドウグリーン水和剤(芝、樹木)、ロブドー水和剤(芝、イブロンとの混合剤)、ドーマイシン水和剤(花き、ストレプトマイシンとの混合剤)	◎	◎
6	ピロキサスルホン (3)	除草剤	7.4	50	○			ソリスト顆粒水和剤(芝)		

注:超過検体数は、都道府県から環境省に報告のあった数。